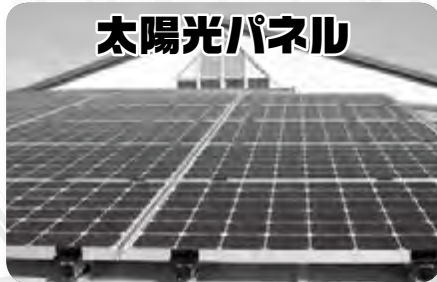


# 新装成る“鎌田地区公民館”



### 太陽光パネル

使用する電気は自然エネルギーから



揮毫 伊藤茂男氏

鎌田地区  
平成27年3月1日現在  
世帯数 8,471戸  
男 9,667人  
女 9,401人  
発行者 西部公民館  
公民館編集委員会

大規模な改修工事が完了し、4月1日から装いに新たに鎌田地区公民館として開館します。使いやすいとなった公民館を是非ご利用ください。



松本市鎌田地区公民館

## 大会議室



1F和室はフローリング調の大会議に変身

## トイレ



すべて洋式の清潔快適トイレ

## ホール



多目的使用可能なエントランスホール

## 調理室



広い部屋に使いやすい新型調理台

## エレベーター



3人乗りホームエレベータを新設

西部公民館は築後30年を経た今年度、大規模改修を実施しました。改修内容については、関係者による検討委員会で審議を重ね、可能な限りの要望を取りまとめました。

全館バリアフリー化、エレベーター設置、トイレの洋式化など高齢者に優しく、料理実習室はより広い部屋にして、最新型調理台を4台に増やしました。

また、一階奥の和室をフロアリング調にして大会議室とし、2階大会議室は分割して創作室と小視聴覚室にしました。中小2つの視聴覚室は遮音効果を高め、気兼ねなく音楽の練習ができるようにしました。

事務室を南側に整備した為、広い玄関ロビーができ、各種展示やミニ演奏会など多目的使用が可能となりました。

屋上には発電容量12kWの太陽光パネルを設置しました。

工事中は皆さまに大変ご不便をお掛けしましたが、4月からは「鎌田地区公民館」としてスタートします。より一層のご利用をお願い申し上げます。



西部公民館 館長 仲 善洋

新公民館竣工に当たって

# 鎌田地区の地域づくり

現在、鎌田地区では関係団体などにより、様々な取り組みが行われています。そのいくつかをご紹介します。

## 【鎌田地区町会連合会】

坪田秀一会長（石芝東）  
不定期開催であった町会長会議を毎月1回の定例化としました。会議では、各町会から活動事例の発表を行い、情報や課題を共有しています。

## 【鎌田地区民生児童委員協議会】

千野千鶴子会長（征矢野）  
毎月の定例会で、民生委員が遭遇した具体的な事例を発表し共有すると共に、課題を話し合い、解決に向け行政への働きかけなどを行っています。

## 【社会福祉協議会鎌田支会】

仁科尚偉会長（月見町）  
福祉懇談会を開催し、各団体の活動内容を学習しています。多くの団体の活動内容が発表され、その活動に対する理解が深められています。

## 【鎌田地区子ども会育成会】

村松昭雄会長（井川城中区）  
地区全体の子ども会を作るため、子どもたちが中心になって様々な事業の計画をして、

大勢の人が参加しやすいイベントを開催しています。

## 【防災部会】

牛山晋一郎長（笹部）  
地区全体の防災訓練を実施するため、計画を策定しています。

## 【各町会】

サロンの開催や、見守り活動の充実を図るための学習会など行っています。

## 【西部公民館・福祉ひろば】

健康増進のため、鎌田ウォーキングに加え、ピンピンキラキラ健康づくり講座を開催しました。その後、フォローアップ講座として「歩こうかまだウォーキング」（歩かま）も開催し、多くの人が参加しました。

## 【その他】

中央包括センターを中心に、地区内の介護事業所や町会長を集め、地域包括ケア会議を4回開催して、地区福祉シテムの構築を目指しています。

紙面の関係で、ご紹介できなかった他の団体でも様々な取り組みが進められています。新年度は、各団体の連携がさらに強まって、当地区の地域づくりが進んでいくと思います。今後、本誌の中で活動報告させていただきます。

遠藤 彰

## 趣味悠々

調理師をやっていた私は定年後、家庭解体リフォームの仕事を手伝っていた。ある古民家の内装解体に行った時、今ではあまり見られない、手の込んだ木彫りの欄間を手にし、彫りのすばらしさと木の温もりのある作品にすごく感動したことを覚えている。

小学校の頃から図工が好きだったこともあり、その作品に刺激され、見よう見まねで木彫りを始めた。

彫り始めた頃は、失敗続きであったが、腕があがるにつれ彫る楽しさがふくらみ、旅先でも碑文などに自然と目が向き、良い言葉に出会うと写したり覚えたりして持ち帰り彫っている。

最近、市内にとどまらず県外のフリーマーケットなどに出品しているが、そこで出会った同年代の人達との交流



## 木の温もりに魅せられて

高宮町会 五十嵐芳男

も深まり、「こは良いね」、「こはもう少しまら」などの批評をいただいたり、勉強になることも多い。

また「刃物を使い、頭を使い集中して作業していると脳が活性化してボケ防止になるよね」など雑談にも花が咲いたり、作品を喜んで持ちかえる方や注文される方も増え、励みになっている。

町会の文化祭にも毎年出品しており、多くの人から、作品を褒めていただいたり、批評をいただき、やっていてよかったなあと思っている。

「趣味あり、仲間あり、出会いあり、交流あり、楽しみあり」の言葉を大切にし、これからも、木の温もり、あたたかみに満ちた作品を、楽しみながら一枚一品、彫りあげていくと思っています。



## 雑感

2月に行われた松本市公民館研究集会の分科会子ども・子育て「今の子育てに、地域や公民館ができて、」に参加して

きた。地区の子育て支援サロン主催者、子ども育成課、子育てサークルの代表者など様々な立場から話題提供された。転動してきたので地域の事がわからない。知り合いがいないので子育てに孤独感があるなどの話も出た。

私も下の娘が生まれた時に今の町会に引越してきたので同じような思いをした。組長の順番が回ってきた時、県外から嫁いできた同じ年の子どもを持つ人に出会った。広報も回覧板で公民館や福祉ひろばの催しを探し、一緒に子どもプラザに行ったり、市の親子体操教室、西部公民館の子連れもOKのエアロビクスサークルに参加した。鎌田児童館で遊んだり、町内公民館でお茶会やクリスマス会もやった。

町会活動に参加したことでママ友ができ、子育ての不安や孤独感も軽くなり、楽しく子育てして来られた。子どもも成長した今、地区の子どもたちを見守り、若い母親の子育てに不安や悩みを聞ける立場でいたい。子どもは地域の宝なのだから。

小林 嘉美